横浜市立 中和田南小学校

令和 4 - 6 年度版 中期学校経営方針

学校教育目標	〇自他のよさる 〇健康や安全 〇地域を愛し、	:大切にし、学ぶ楽しさを感し 見つけ、礼儀や規律を重ん の大切さに気づき、心身とも 社会の一員として自分で考	のけ、自分の力を発揮し友とまちと共1 こて、共に学び合う子を育てます。(知 いじて自分も友も大切にする子を育て いに健やかな子を育てます。(体) え行動できる子を育てます。(公) 通して、視野を広げていく子を育てます。]) ⁻ ます。(徳)		
学校	創立 55 周年	学校長 山崎 薫	副校長 丸山 浩司	2 学期制 一	·般学級: 12	個別支援学級: 3
概要	児童生徒数:	319 人 主な関係校: 身	泉が丘中 下和泉小 伊勢山小			

教育課程全体で
育成を目指す資質・能力

<コミュニケーションカ> <協働して課題解決するカ>

期 取

組 目

標

泉が丘中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〇泉が丘中 〇下和泉小 〇伊勢山小	進んで人や地域と関わり、自他のよさに気付ける子ども これまでの学びをこれからの学びに生かしていくことができる子
	○研究討議を伴う合同授業研究会実施による小中の指導の一貫性の確認 ○児童生徒交流日における授業参観や部活動体験の実施 ○教務主任会やブロック専任会でのカリキュラム編成の在り方や児童生徒の諸問 題の共有

〇保護者、地域、教職員全員が互いに学び合い、協力し合いながら、子どもたちの健やかな成長を育む学校にします。

- ・誰もが分かる楽しい授業づくりを目指し、一人ひとりが自分の考えを表現しながら学力を向上させるようにします。 ・子どもたち一人ひとりが自ら進んで明るく元気にあいさつのできる学校をつくるようにします。
- ・相手の心や立場に寄りそう思いやりの心をもった子の育成を目指し、一人ひとりが大切にされる学校をつくります。 ・小規模校のよさを生かし、縦割り交流を積極的に進め、自尊感情や自己肯定感を高めるようにします。
- ・保護者や地域社会との連携を図り、地域に根ざした体験活動を重視することを通して、豊かな心情を育てます。

重点取組分野		具体的取組			
知	生きてはたらく知	①重点研究のテーマは「主体的に学び、自分の考えをもち、伝え合う子どもをめざして」とし、情報手段を有効に 活用して自分の思いや考えを豊かに表現できるような子の育成を目指す授業づくりに励む。②漢字、計算のスキ ルアップや広範囲の知識を拡げるため、朝1Mの読書タイムやスキルタイムの時間を設定する。			
担当	重点研推進·C部会				
徳	豊かな心の育成	①縦割り班活動を意図的、計画的に実施し、異学年間交流の充実を図る。特に高学年児童の自尊感情や自己肯定感、リーダーシップの向上を目指す。②地域の人と触れ合う行事や体験活動を意図的、計画的に実施し、まちの人々から学んだり、仲間と協力しあったりする機会を設ける。			
担当	縦割り・人権・道徳				
体	健康教育	①体カアップ大作戦、マラソン大会等の体力向上を図る取組を計画する。②企画委員会、保健委員会、給食委員会など、児童の組織を活用して、児童が健康や保健安全面に関心をもち、主体的に活動に取り組めるようにする。			
担当	体力推進·特活				
公 開	地域学校 協働活動	①学区内美化活動として四ツ谷町内会と連携して、四ツ谷遊水地に設置された花壇の整備や和泉川沿いの遊歩 道に掲示する河川美化に関わるポスター作りを行う。②地域の農家より水田や畑を借り、稲作やサツマイモ栽培 を通じ、生産者の思いや願いを理解したり収穫への感謝の心情を育成したりする。			
担当	中学年·稲作				
いじめへの対応		①年2回のY-Pの活用、年1回のアンケートと担任と児童の面談を実施し、早期把握に努め、悩みを誰にでも相談できる教職員との関係づくりに努める。②月1回いじめ防止対策委員会を開き、専任を核とした記録整理と情報共有に努め、保護者、関係機関との連携を深め指導にあたる。			
担当	いじめ防止対策・児童指導				
	人材育成・ 織運営(働き方)	①運営組織を月1回のABC三部会制に精選し、学年・ブロック研の時間確保と充実を図り、教材研究等による授業力向上や要配慮児童の児童理解を深める取組を行う。②メンターチームを組織し、学級経営や授業の力量を高めるように研究・研修を行う。③グループウェア、電子申請システムの活用を推進し、業務の効率化を図る。			
担当	教務・メンター				
	児童指導	①児童支援専任を中心に児童支援や特別支援教育に積極的に取り組む。また、いじめ防止対策委員会で児童の状況を共通理解し、児童理解に努める。②「一人で抱え込まない、一人で背負い込まない」を合い言葉に常に情報を共有し、学校全体チームとして児童指導や保護者対応にあたるようにする。			
担当	児童指導				
	持別支援教育	①学習が遅れ、一斉指導での理解が困難な児童は、保護者や本人と合意の上、取り出し指導により支援を強化する。また、心に不安のある児童には、落ち着ける別室を設け、安定化に努める。②給食交流や集会活動等を通して、個別支援学級と一般級の子どもたちの交流を深める。			
担当	特別支援教育コーディネーター	して、回加又1友十枚に 河内以の丁ともたりの文派で木のる。			
In ale					
担当					
担当					